

# 小児救急電話相談のしくみ案内

「子どもが熱を出して、下痢をしています」「子どもの咳が止まらなくて…」「子どもが誤って洗剤を飲んでしまつて…」など、小児救急に関する相談を受け付けています。



## Q どんなことが相談できるの？

A お子さまが夜間、急な病気や事故で具合が悪いつとき、家庭でどのように対処すればよいか、直ちに医療機関にかかる必要があるかについて、電話で看護師が助言、アドバイスを行います。

また、専門の判断が必要な場合は、小児科医が助言、アドバイスを行います。

## Q 相談できないこともあるの？

A 緊急性のあるお子様のための電話ですので、育児相談はご遠慮ください。

また、受診可能な医療機関を知りたい場合は、北海道救急医療・広域災害情報システム

(<http://www.qq.pref.hokkaido.jp/qq/qq01.asp>)で医療機関を検索するか、救急医療情報案内センター(フリーダイヤル0120-20-20-8669)にお電話ください。

## Q 相談するときの注意事項はあるの？

A 電話がつながったら、慌てずゆっくりと、お子さまの症状、年齢、お名前などをお話ください。

なお、明らかに重大な場合は(呼吸や心臓が止まっている、事故で大けがをしている)、直ちに119番通報してください。

また、電話相談は、医師が直接診療するものではなく、あくまでも家庭での一般的対処などに関する助言、アドバイスですので、あらかじめ留意ください。

### 電話相談受付時間

平日(月曜～金曜日)午後7時～午後11時  
※土曜、日曜、祝日、年末年始は行いません

ご家庭の電話でプッシュ回線をご利用の場合 **#8000**

その他のダイヤル回線、携帯電話、PHSの場合

### 電話番号

**011-232-1159**  
ひまわりセンター

## 献血にご協力を!!

冬場から春先にかけては、風邪などで体調を崩す方が多いことや、学校や企業、団体などの協力が得られにくく献血者が減少する季節です。

冬場の献血に1人でも多くの方のご協力をお願いいたします。

詳しくは、

北海道旭川赤十字血液センターまで

**☎0166-52-2212**

### 「はたちの献血」

**キャンペーン実施中!!**

期間：平成17年1月1日～2月28日

すべての血液製剤を献血により確保する体制の確立を目指して、成人式を迎えた「はたち」の若者を中心として献血に関する理解と協力を求めるものです。成人式を迎えた皆さん、献血にご協力をお願いします。